

まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校

土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）

令和4年度4月12日

文責 酒井 宏之

令和4年度がスタートしました

令和4年度がスタートしました。今年度は120名の1年生を迎え、全校児童数781名となりました。

4月6日（水）は令和4年度の第1日目。朝、昇降口には新しい学年やクラスが表示されていました。子供たちは昇降口のクラス表示を見つけると、かけより、うれしそうな顔が見られました。そして始業式。リモートによる式となりましたが、担任発表では、子供たちの歓声が校舎中に響き渡りました。

希望に満ちた始業式の中で、校長から子供たちには次のようなメッセージを伝えました。



2年生は、明日から新しい1年生が入学します。みなさんはお兄さん、お姉さんになります。1年生のお手本として恥ずかしくないように頑張しましょう。

3年生はいよいよ中学年です。自分のことだけでなく、相手のことを考えて行動し、低学年のお手本になれるよう頑張ってください。

4年生は、クラブ活動も始まり、行事でも自分たちが責任をもって進めることがたくさんあります。積極的な取り組みを期待します。

5年生はいよいよ高学年の仲間入りです。6年生を支え、学校をリードしてください。チャレンジする気持ちを忘れずに大きく成長する1年になるよう願っています。

6年生は、いよいよ最高学年、真鍋小最後の1年です。みなさんは真鍋小学校のリーダーです。みなさんの行動が真鍋小をさらによい学校にしていけます。何事にも一生懸命取り組み、悔いのない1年にしてください。そして、すばらしい卒業式になることを期待しています。（始業式式辞から）

3年ぶりのお花見集会に感謝



4月11日（月）、3年ぶりにお花見集会が開かれました。桜の花はやや散り始め、葉桜となりつつありますが、見事な姿でした。お花見集会は真鍋小の伝統行事でもあり風物詩でもあります。しかし、ここ2年間新型コロナの影響で中止となっていました。今日は3年ぶりの開催となりました。

この集会はサクラ委員会が計画を立ててくれました。また、1年生の歓迎の集会でもあり、今日は6年生と1年生がリングバンを介して手をつなぎ、6年生が1年生をエスコートして入場しました。1年生はとってもうれしそうでした。そして、サクラに関するクイズや接触しないダンスなどを工夫して行い、とても和やかな集会となりました。

暖かな春の日差しの中、5本の大きな桜の木の下で全校児童が、楽しいひとときを過ごすことができたことをうれしく思うと同時に、開催できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



校長室より

真鍋小校長「酒井 宏之（さかい ひろゆき）」と申します。今年度で真鍋小2年目となります。よろしく願いいたします。

新型コロナが発生してから、学校生活は大きく変わってしまいました。今まで当たり前のように行われていた教育活動が、中止や変更となるものが多くなりました。さらに、感染が激しくなると休校にもなりました。発生した当初は、1・2年経てば落ち着くだろうと思っていましたが、残念ながら収束の兆しは見えません。

そんな中スタートした令和4年度。今年は、子供たちの健康・安全を第一に考え、感染症対策を十分にした上で、様々な教育活動に工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。これまでの行事の工夫・改善、そして新たな取組も考えていきたいと思っています。

今年は自分にとって最後の1年になります。1つ1つの行事や子供たちとのふれあいを大切にしながら、1日1日過ごしていきたいと思っています。そして、職員と共に子供たちに「元気と夢」を育ててまいります。どうぞご協力をお願いいたします。